

# 横山蒼鳳 『私の書いた言葉たち』

## 遺作集から繋がる展覧会

横山先生との良き縁は、私の兄清水義晴がつくってくれました。数年間、正月仕事始めの日に、社員全員による「書き初め」の儀式がならわしとなりました。何を書くか？言葉も各人の自由です。先生は何も教えてくれません。ただにこやかに、楽しそうに私達が書く字を見守ってくれました。自分で考え、自分で行動するという博進堂が目指す「教えない教育」の場がそこにありました。

この度、横山先生のご息女、純さんよりメッセージをいただきました。

代表取締役社長 清水伸



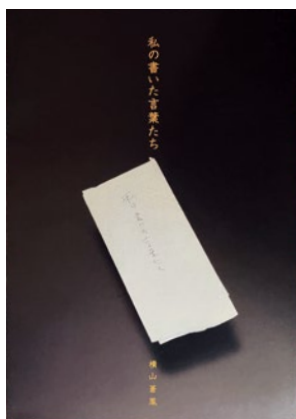
砂丘館での展覧会の様子



砂丘館での展覧会の様子

昨年、父の遺作集展を開催したいと思い尋ねた博進堂の清水社長から、砂丘館館長の大倉さんを紹介していただきました。はじめて大倉さんにお会いする日「あの本を持って行こう」と思い立ち、砂丘館に向かいました。その本は、父が旅立つた約一年後に誕生した『私の書いた言葉たち』という作品集のこと。作品だけを紹介した図録とは違い、風景と一緒に撮影された作品が、どれもイキイキと、まるで飛び出してきそうだったり色っぽかったりして見えます。何度も何度も見入ってしまったくらい、とても気に入っている一冊です。作品の撮影者である山城さんに「山城さん、凄いね！どうしたらあんな風に撮れるの？」と聞くと嬉しそうにしていた姿が忘れられません。父と山城さんの遺作集ともいえるこの作品集が誕生するまで、いろいろなドラマがあったことを思い出します。そして大倉さんも大変気に入ってくださり、砂丘館での展覧会「こえがきこえる 横山蒼鳳さんの書いたことば展」が実現しました。作品を立体的に見せることで、作品が語りかけてくるような素晴らしい展示で、御来館の方々にも喜ばれた最高の展覧会でした。作品集と同じく作品が嬉しそうにしているように感じ、表現する可能性と工夫と楽しさを学びました。是非皆様もこの作品集をご覧になってみてください。

横山純



私の書いた言葉たち

- ◆発行 横山あやめ
- ◆価格 8,000円(税抜)
- ◆販売先
  - ・認定NPO法人新潟絵屋 <http://niigata-eya.jp/>
  - ・砂丘館 <https://www.sakyukan.jp/>

横山 蒼鳳(よこやま そうほう・書家)  
1934年  
新潟県下田村(現三条市)生まれ  
1963年  
書壇院展内閣総理大臣(池田勇人)賞  
2013年4月に永眠

山城 梨楊(やましろ りょう・写真家)  
元(株)博進堂社員  
(撮影・営業・編集を担当)  
2014年5月に永眠

# はくしどう時間

「はくしどう時間」は  
博進堂の「今」をお届けする  
ニュースレターです。

皆さまのお声をお待ちしています！



もくじ  
・横山蒼鳳『私の書いた言葉たち』  
遺作集から繋がる展覧会  
・環境配慮型「アルバム」  
進化し続ける会社案内  
・博進堂 現場入  
・新潟おすすめグルメ  
・編集後記

撮影：畑中 舞



新潟グルメを愛する青森出身の編集部員まいです。今回は暑い時期にぴったりの見た目にも涼しいクリームソーダのご紹介です。いつの時代も愛される魅惑の飲み物。ぜひお気に入りを見つけみてください♪



新潟市中央区

梅雨のクリームソーダ

びえに。鮮やかな紫と上に乗った紫陽花柄クッキーがキュート。梅雨の時期限定です♪

燕市

いちこのクリームソーダ

ツバメコーヒーフソフトクリームたっぷりでボリューム満点。季節ごとに違った味が楽しめます♪

新潟市中央区

紫陽花クリームソーダ

お酒と喫茶ムラリス紫陽花をイメージした青と紫の炭酸ゼリー入り。アイスはブルーベリー味でさっぱり♪

上越市

夢のクリームソーダ

読書喫茶ヒメツヤサン夏の訪れを感じる王道の一杯。上についた金平糖がなんだか嬉しい♪

### 編集後記

今年は早くも暑い日が続いてつつい冷たいものを口にしがちですよね。体を冷やしすぎると秋に体調を崩す秋バテになるんだとか。しっかりバランスよく栄養をとって、暑い夏を乗りきっていきましょう！

今回のテーマは「思い出の味」！

バナナと牛乳と氷をミキサーにかけただけの、母の手作りジュース。砕けた氷とバナナのまるやかな味に感動したのを覚えています。(うちだ)

ブラジルのジューススタンドで飲んだ搾りたてのオレンジジュース、信じられないくらい甘かったマンゴー・・・旅の思い出は、食の思い出ですよね！(れい)

お盆期間にお寺の入口でよく見かけるババヘアアイス屋さん。お墓参りの度に買って買ったその味は、今でも地域に愛される思い出の味です。(まいまい)

私の思い出の味は、幼稚園児のころに帰りのバスに乗る前に食べる肝油ドロップです。いつも帰りにもらえるのがとても楽しみでした。(ゆうじ)

### 表紙PHOTO

時には頭を空っぽにしてぼんやり空を眺めてみる。なんてことない景色に、心が洗われる。 制作部 畑中舞



はくしんどう時間 vol.17  
発行：株式会社 博進堂  
TEL：025-274-7755  
発行月：2024年7月  
題 字：小笠原 麗(アルバム営業)

## 博進堂 新入社員の「現場人」インタビュー

生産部 高口 裕司 さん

インタビューをするのは、今年入社の新人社員たちです。取材を経て、学び、感じた「現場人(ゲンバビト)」をおとけします。



今回の「現場人」は、生産部で主に断裁機のオペレーターをしている高口裕司さんです。高口さんは、博進堂に入社してから15年で、入社当時はオフセット印刷機の担当をしていました。断裁機の担当になったのは5年前で、任された当時は先輩方の中にも機械に不慣れなベテランが少なかつたため、扱い方を習得するのは大変だったそうです。断裁は少しのズレが後の製本工程に大きく影響し、刷り直しなどにつながるため、精細さを求められます。丁寧に、細部にも気を配る。仕事に対してそのような姿勢が必要なのだと感じました。高口さんのような作り手の丁寧で確実な仕事があつてこそ、美しく、ながく後世に残る作品が生まれるとわかりました。また、高口さんは休日にはドライブによく出かけるそうです。特に神社巡りが好きで、新潟県内では、日飯野神社や弥彦神社が印象的だったと教えていただきました。



インタビューを元に記事を作るのが難しかったです。しかし、先輩の仕事に対する姿勢や、意外な趣味のお話を聞くことができ、貴重な体験でした。 石黒 是文(生産部)

普段あまり関わるできない生産部の大先輩にお話を聞く機会をいただき、大変勉強になりました。 浦山 ひな(営業部)



部署が違うとなかなか関わる機会がないので、今回仕事についてお話を聞いて良かったです。おすすめの神社についても、ぜひまた伺いたいです！ 小林 一恵(経営部)

## 日本初！環境配慮型アルバムお届けしました



アルバムの表紙にリサイクル系ECO BLUE®を使用した生地ECO-1紺を日本で初めてご採用いただいたことを記念して、2024年3月23日(土)に市川中学校様にて“卒業アルバム授与式”を開催しました。当日はアルバム編集委員や教員のみならずご参加いただきました。(株)学校写真 蕪崎隆志社長、弊社社長 清水伸より生徒のみならずへのアルバム授与を行い、代表の生徒の方から感謝のメッセージを頂きました。今後も環境にやさしい持続可能なアルバムづくりを進めてまいります。 営業部 長澤 利紀



## 進化し続ける 会社案内

当社会案内のスタイルは2014年に誕生し、2024年6月発行で第15版を数えます。会社案内は初対面の方へお渡しすることが多いですが、当社では何度でも読んでいただけるよう旬の情報を盛り込んだ「進化型会社案内」と位置づけています。

情報が古くなると廃棄されることもある会社案内ですが、オンデマンド印刷機により必要な時に必要な数だけ製作する「オンデマンド作品」となっています。

これからも進化し続ける会社案内をお届けいたします。

常務取締役 長井 伸裕